



生徒の皆さんへ

長いようで短かった夏季休業が終わり、本日から2学期が始まりました。今夏はコロナ感染が全国で拡がり、思いのほか気を遣った夏ではなかったかと思えます。本校でも少しずつ影響が出始めてきています。今後も感染症対策も継続しつつ、熱中症にも気をつけて、まずは体育祭に向けて力を合わせていきましょう。

五所 平之助

生きることは 一筋がよし 寒椿

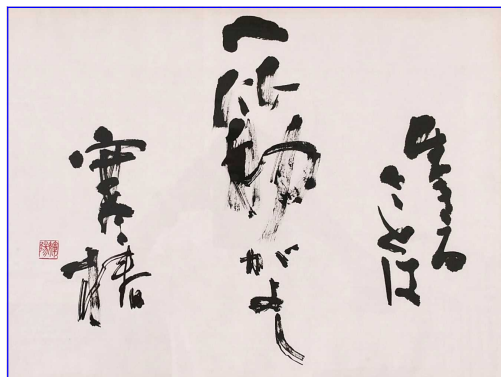
皆さんはこの言葉を校内で見かけたことがあるだろうか。この言葉は職員室横の階段上方に装丁された書（右下の写真）として飾られている。揮毫されたのは本校に勤務されていた奥山正敏先生（S60.4～H1.3勤務）である。

調べてみたところ、これは、日本最初の国産トーキー映画の監督として有名な五所平之助（ごしょへいのすけ:1902～1981）の言葉である。「どんな職業であれ、どんな人生であれ、一旦自分がこれと決めたら、その道を一心不乱に突き進むことの尊さ」を詠んでいる。あれこれ考えず、迷わずに一筋に生きる。あっちこっち向いては人生をダメにする。不器用でも一筋（ひとすじ）に生きることが大切であると気づかせてくれる。

寒椿（かんつばき）は冬の季語で、冬椿も同意の季語である。椿はツバキ科の常緑樹であり、日本特産である。椿の花は、木偏に春と書くように早春に咲くが、ところによっては10月からも咲いている。特に、冬季になって早咲きする種類の椿を「寒椿」という。寒風のなかに颯爽と咲いている様は、健気で凜々しい風情がある。この言葉も、そのようなたたずまいを見せている椿に、共感した作者の心持ちが詠まれているのだろう。

「一志一道」という言葉もある。一度、志を立てたら、一筋にやり続けたいいけない。やはり、学問でも部活動でもすべてにおいて、何か成し遂げようと思ったら、うまくいくことばかりではなく壁にぶち当たることが多いはずである。その時に何が何でもやり通すんだという忍耐、ブレない継続、これが大切なのは言うまでもない。この忍耐と継続こそが、不可能を可能にするための条件になるはずだ。

さあ、本日から2学期の始まりである。皆さんは、自分なりにこれと決めた道は決まっているだろうか。少なくとも3年生は決まっているはずである。今月半ばからは、就職選考試験も始まる。時は待ってはくれない。まだ迷っているのなら早急に考えをまとめてほしい。1・2年生にとっても、そんなに遠い日の話ではない。



集中力アップの秘訣③

勉強中は通知オフでスマホをしまおう

今や、高校生のスマホ所持率は9割を超え、勉強中にスマホがつつい見ちゃう人が多いはず。ただし、本当に勉強に集中したいなら、勉強中だけはスマホを見えるところに置かないこと。さらに、通知音はオフにしておくことです。しかし、ずーっとオフなのも不安なので、休憩中のスマホはOKです。ただし、気をつけてほしいのは、ちゃんと休憩時間を決めることです。実は、これがなかなか難しいです。ちょっとしたLINEメッセージのやりとりなどは大丈夫なのですが、ユーチューブなどはダラダラとみてしまう可能性が高いです。なので、勉強中の休憩では、関係の無いユーチューブなどの動画を見るのは避けたほうが無難です。いずれにしても有限な時間をどう使うかはあなた次第です。

読書への誘い（本校図書室に置いてある本）

「ドラゴン桜公式副読本 16歳の教科書 1・2」

1 なぜ学び、なにを学ぶのか 2 「勉強」と「仕事」はどこでつながるのか

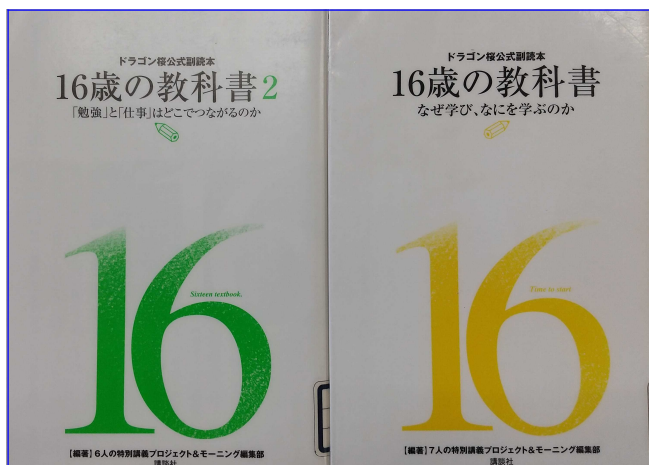
特別講義プロジェクト&モーニング編集部 編著 講談社

人気受験漫画『ドラゴン桜』の副読本として制作された本。漫画内の各教科の講師の紹介とともに、それぞれの専門分野で活躍する方々の話をまとめたもの。

第1巻を発売したあと大好評だったため、勉強と仕事とのつながりに視点を変えた第2巻が発行されました。受験漫画の副読本だからといって、ガッチリした内容ではなく、どうすればよりよい学びにつながるかを語っています。

僕たちは、なぜ勉強しないといけないのか？いったい何をどう学べばいいのか？はたして大学に行く意味なんてあるのか？など、かつて16歳だった各分野の第一人者たちが、いまの16歳たちに裸になって本音で語っています。

16歳の教科書というタイトルですが、17歳にも18歳の方にも是非とも読んでほしい1冊です。



【左が第2巻、右が第1巻】

きっと勉強に悩んでいるあなたにヒントを与えてくれるはず。たまには、気分転換に図書館に足を運んでみてはいかがでしょうか。

保護者の皆様へ

島内における感染状況も落ち着くところを知らず、全国的に新規感染者が増える傾向が続いており、いつまで経ってもコロナ禍における心配事が絶えません。しかしながら、重要な学校行事である体育祭は、今のところ感染症・熱中症対策を講じて実施予定です。何卒、引き続きの御理解と御協力をお願い申し上げます。